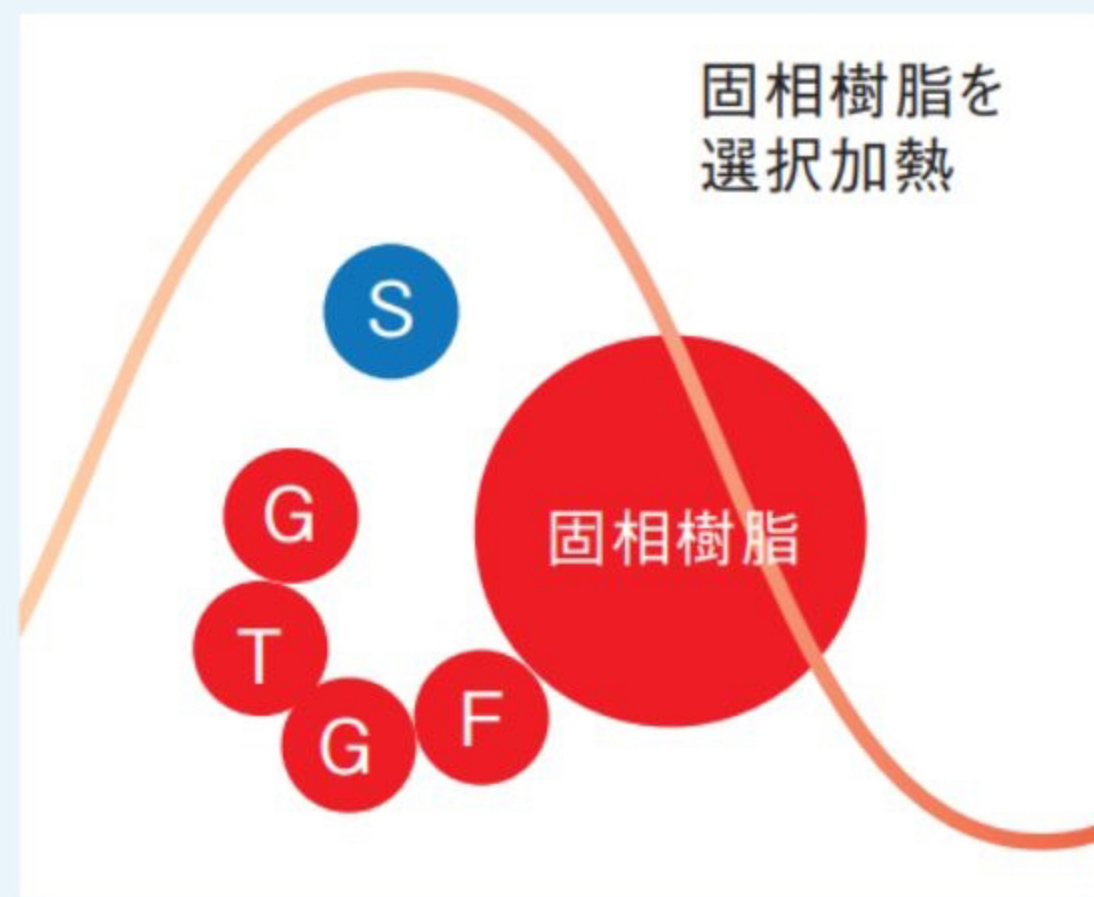


低温下で反応を促進

伝送線路型アルミブロック恒温槽一体型導波管(PAT)の特性により、マイクロ波(進行波)は反応容器自身を透過するため、加熱されません。アルミブロック恒温槽の冷却機構により、反応容器自身を室温以下に冷却することができ、副反応を抑制します。



マイクロ波の吸収性が高い固相樹脂を用いることで、マイクロ波照射時に選択的に固相樹脂の加熱を行なうことができます。それにより溶媒が低温状態でも反応の促進が可能です。